

平成 17 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 丸一鋼管株式会社  
代表者の氏名 鈴木 博之  
コード番号 5463(東証・大証 1 部)  
問合せ先 執行役員総務部長鈴木省三  
(TEL : 06-6531-0101)

## 中 期 経 営 方 針

本日開催の取締役会において、当社グループの中期的な経営方針の策定を行いましたので、その概要をお知らせ致します。

日本経済は既に踊り場を脱したと言われており、企業業績改善の影響が設備投資に次いで雇用・家計にも波及しつつあります。海外経済を見ますと、米国・中国の政策コントロールによって世界経済は調整局面にあるものの、原油高にも拘わらず拡大基調が継続しています。アジア地域の需要は依然旺盛で企業のポータリティ化も急激に進んでおり、それに伴って技術の蓄積を背景に、当地域に於ける日本鉄鋼メーカーのプレゼンスも更に高まっていくものと思われま。

当社グループもこの様な環境下、世界戦略を視野に入れ、更なる飛躍のために次の様な経営方針で臨み、収益の拡大を計り、グループ経営を更に強化していく所存です。

### 1. 経営理念

1. わが社は、パイプのリーディング・カンパニーとして、すぐれた製品を供給し顧客の信頼に応えることにより、社会に貢献することを使命とします。
1. わが社は、株主、取引先、従業員、地域社会等、すべてのステークホルダーを尊重します。
1. わが社は、従業員一人一人の知恵と情熱と行動により、製品の信頼性、技術力、販売力を向上させ、将来に向けての成長エネルギーと新しい価値の創造を推進します。
1. わが社は、すべての従業員にとって、その人生を託すにふさわしい、素晴らしい、夢にあふれた会社であり続けます。

### 2. 主要な連結経営目標

第 71 期 (平成 17 年 3 月期) と第 75 期 (平成 21 年 3 月期) の対比

項目	71 期(平成17年 3 月期)	75 期(平成 21 年 3 月期)
	実績	目標
売上高	1,045 億円	1,500 億円
総資産	2,361 億円	2,770 億円
減価償却前 経常利益	252 億円	281 億円
経常利益	227 億円	240 億円
1 株当たり純利益	124. 65 円	*137 円
1 株当たり株主資本	2,010. 26 円	*2,327 円

\*75 期発行株式数は、平成 17 年 9 月末の株式数を基に試算しております。

### 3. 経営方針について

当社グループの企業価値向上を最大の目標に、持続的な成長力の構築を目指し、下記の経営方針を立て戦略的投資を行っていきます。

#### (1) 既存事業の強化

- ① 販売力の強化 ⇒ きめ細かなサービスによる戦略商品のシェア拡大
- ② 生産・品質面の強化 ⇒ 堺工場・大阪工場・東京工場・北海道丸一鋼管及び マルチ アメリカの合理化  
⇒ 材料処理工場である詫間工場での新規設備投資  
⇒ 特品事業部の事業拡大のための投資
- ③ 安全・環境への取り組み ⇒ 事故を未然に防止するシステムとルールづくり  
⇒ 環境負荷低減への努力と技術開発
- ④ 人事制度・組織等の改革 ⇒ 安全と教育・研修の強化
- ⑤ 業務プロセス改革と経営効率化のための IT 投資  
⇒ 経営管理サイクルの短縮とグループ 情報ネットワークの構築

#### (2) 海外展開

将来の収益成長を図るため、国際市場へ戦略投資を行っていきます。

- ① アジアでの新たな生産拠点の確立
- ② 北中米への進出
- ③ 海外アライアンス先との連携強化
- ④ 原料安定調達のための投資

#### (3) 新規事業の展開

- ① 既存事業に於ける新商品の開発と周辺事業への新たな展開
- ② マルチビジネスファクトの活用を含む新規事業分野への投資

### 4. 社会と共生するゴーイング・コンサーン（永続企業）として

- (1) コンプライアンス、コーポレートガバナンス、企業の社会的責任への取り組みの一層の強化。
- (2) 遵法精神の徹底への努力。
- (3) 内部統制システムの構築をはじめ、ガバナンス体制の整備・強化。
- (4) 透明度の高い経営の実現への取り組み。
- (5) 従業員の雇用確保と地域社会への貢献。

以 上